

ひなぐ

編集・発行／都城市PTA連絡協議会
都城市姫城町7街区8号
TEL.0986-24-5312
FAX.0986-24-2812
E-mail:mmpta@bz03.plala.or.jp



田植え



俵踊り



めのもち作り



学校全景

都城市立高崎麓小学校

自然や歴史が豊かな高崎麓小学校は、全校児童20名の小規模校です。学校支援団体「ふもっ子を伸ばす会」の協力のもと、毎年、学校実習田での稲作体験や伝統芸能の俵踊りを行っています。収穫したもち米を使って、餅つきやめのもち作りをしました。

令和4年9月28日(水)は、創立150周年の記念日です。

特色ある授業・PTA活動

PV(パブリックビューイング)参観日

明道小学校

コロナ禍でほぼ全ての行事が、止まっている状況です。本校も、授業参観、PTA奉仕作業等の特別な活動が停止となっている中、PTA会長が『子どもの学校生活を見たい』という保護者の要望を学校と相談し、PV(パブリックビューイング)という参観日が実現しました。分散型の授業参観、授業の動画配信等、様々な手段を考慮しましたが、感染防止、肖像権の保護等の観点から、生放映で授業を参観することがベターな方法であるという結論に行き着きました。今回の参観は、今後の様々なイベントへの参加方法としての一つの試行的取り組みです。

参観日当日の流れ

10月13日(水)

1校時	8:25 ~ 8:50	4の1
2校時	9:20 ~ 9:40	5の1
3校時	10:15 ~ 10:35	5の2
4校時	11:10 ~ 11:30	6の1

10月14日(木)

1校時	8:25 ~ 8:50	1の1
2校時	9:20 ~ 9:40	2の1
3校時	10:15 ~ 10:35	3の2
4校時	11:10 ~ 11:30	あやめ けやき1 けやき2

13日(水)は5の2、14日(木)は1の1を取材させていただきました。

明道小学校

校長 後藤 世志哉

「不自由な中でも、最大の思い出作り」。この言葉がPTA会長とのキーワードでした。この言葉を機会ある毎に、保護者に語り、明道小学校は様々なイベントを実現してきました。新型コロナウイルスの感染拡大の第5波により、9月、3回目の参観日が中止となり、「どげんかせんといかん」と数日考えた末、PTA会長にパブリックビューイング参観日を提案しました。会長からは「面白い！やりましょう！」と即答をしていただきました。その後は会長と2人で実現させるために作戦会議を行いました。会長からは「担任の人柄を保護者に伝えてほしい」、「給食の様子を見せたい」と2つのリクエストをいただき、完成したのが今回の参観日でした。

当日、保護者は体育館でマスク着用のまま視聴する。参観日の内容は①PTA会長挨拶(録画)、②担任挨拶(生放送)、③授業の生中継(カメラマンは校長)、④「給食参観(録画)」、⑤「校長・会長からの一言(対面)」という流れで行いました。

初めての試みで撮影に苦労しましたが8回も中継を繰り返すうちにポイントやつかみどころが分かってきました。参観日終了後、参加者からは多くの「賛辞」をいただき、感動致しました。参観された保護者の方々、先生方、緊張の中笑顔で出演した子どもたち、そしてPTA会長、その他ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

明道小学校

PTA会長 上園 将己

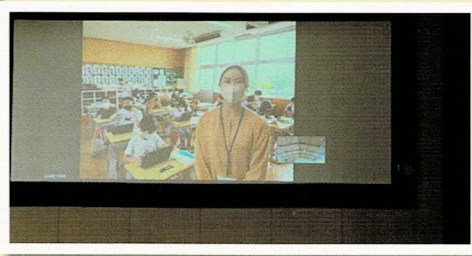
今年に入ってもコロナが収まらず、参観日の中止を余儀なくされました。子どもが学校でどのような生活を送っているのか、どのような先生から授業を受けているのか、ほほわかない状況でした。そんな中、校内で保護者と児童を接触させずに学校での様子を保護者に伝える為に考えたのが今回の「パブリックビューイング参観日」でした。

初めての試みだったこともあり不安もありましたが、校長先生をはじめ先生方のご協力のおかげで開催することが出来たことを本当に感謝しております。

校長先生が自らカメラを持って教室内を回ってくださいましたので、通常の参観日とは違った角度からの授業を見ることができ、さらに授業の解説、子どもへの声掛けやかかわり方が見られたことは、とても良かったところだと思っております。

また、録画ではありましたが、コロナ禍での給食の様子を保護者に見ていただき、どのような状況で子どもたちが給食を食べているのかを知っていただけなことと思います。

子どもたちは常にマスクをして学校生活を送っています。先生や友達の表情を見ることができず、コミュニケーションも取りづらいはずですが、そういった状況が改善されて子どもが子どもらしく学校生活を送れる日が一日でも早く戻ってくることを願っています。このつなぐが皆様の手元に届く頃には教室や運動場で元気な子供の声がたくさん聞こえますように。



保護者の感想

● 校長先生から丁寧な説明があり、とても見ごたえがありました。担任の先生の熱心な指導や、普段の子どもの様子がわかり、良かったです。

● 先生の目線カメラが普段の参観日では見られない景色でした。

● 校長先生が一人ひとりに声をかけながら撮影してくださり普段の様子等がとてもわかりやすくてよかったです。

● 給食の様子など普段見られない子どもたちを見るのが出来て嬉しかったです。

● 参観日がなくなる中、大変な準備をしていただき、子どもたちの様子を見られたことに感謝します。

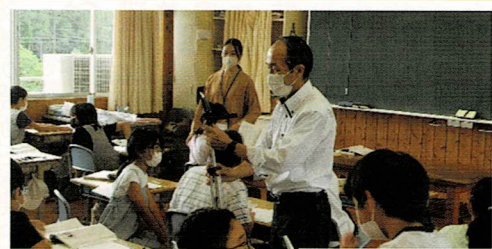
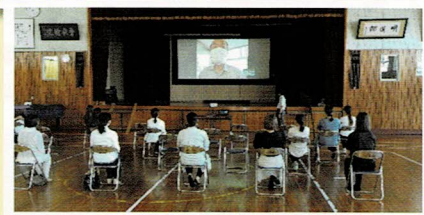
● 学校生活での一日をダイジェストで見たいです。登校〜下校まで。

● 教室の掲示板や子どもの制作物ももう少し見たかったです。

● 授業参観とは違った、新しいスタイルを確立したと思います。コロナが落ち着いた後も、パブリックビューイングは続けたいです。

● このご時世、学校の行事が中止になる事は仕方ない事とおりました。しかし、このような素晴らしいアイデアで実施して頂き、PTA会長、校長先生をはじめ先生方皆様に感謝申し上げます。

● PV参観、想像以上に子ども達の様子がわかりやすく、楽しめました。このような状況の中、様々な工夫で子ども達や保護者に寄り添ってくださること、感謝いたします。インターネットを使ってこれからの皆さんの驚きを頂けると嬉しいです。ありがとうございました。もっと長い時間見たかったです。



児童の感想

6年 下西 杏奈
初めてだったけど、こんな参観日もおもしろいなと思いました。お母さんはいつも仕事を休んで参観日に来てくれるので、今後、家や仕事場から見る事が出来たら仕事を休まなくても授業が見られるから、助かるのではないかと思います。

6年 蒲生 龍進
カメラに撮られるのは少し恥ずかしかったけど、みんなはあまり緊張していない感じでした。やっぱり普通の参観日の方がいいけど、コロナの中もお母さんたちが見に来られるのはとてもいいことだと思います。

先生の感想

3年担任 清水 美香先生
初めてのPV参観日は、コロナ禍でも子どもたちの様子を見ていただくよい機会だと感じました。しかし、子どもの立場になってみると、教室後方で保護者が見ている中で、一生懸命頑張る、家に帰ったら大いに褒めてもらうというような、いつもの参観日に戻ってほしいなとも思いました。今回は、どんな状況下でも行う方向で実施しましたが、コロナのレベルに合わせて、参観日のやり方を変える1つ大きな手がかりになったと思います。

4年担任 福丸 美江先生
初めてのパブリックビューイング参観日はすべてのことが新しく、教室にいない保護者の方が、体育館の大きなスクリーンで自分たちの頑張りを見てくれてという不思議なものでした。気持ちも複雑で緊張感と少しの安心感の中、授業は進みました。まずは第一歩、新しい形でICTによった授業が体育館まで飛んで行きました。きつと近いうちに、保護者や地域の方にも身近に、授業が飛んで行くのだと思います。楽しみです。

6年担任 佐田 春美先生
教室からどのように授業の様子を保護者に見えているのがわからず、初めのうちは戸惑いもありました。しかし、保護者が見ておられる時の緊張感がなく、いつもと変わらない授業の雰囲気を見てもらうことができたのは良かったです。また子どもたちの表情を正面から見られるのがいつもの参観日ではなかなかできないことだと思いました。保護者からはコロナ禍だから仕方ないというのではなく、新しい試みに取り組んでほしいという意見もありました。



「令和3年度 宮崎県いじめ問題子供サミット」

西中学校
都城泉ヶ丘高校附属中学校

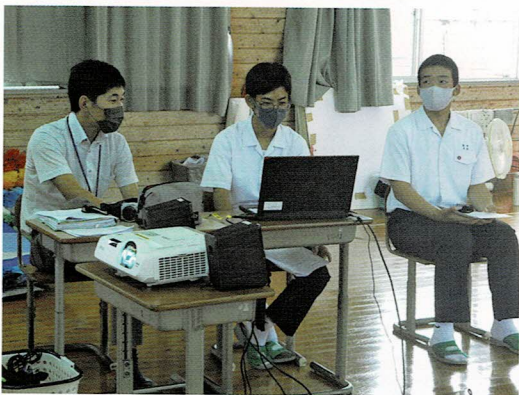
8月20日(金)に、宮崎県教育委員会主催による「令和3年度いじめ問題子供サミット」が行われ、西中学校と都城泉ヶ丘附属中学校を含む7校の学校がオンラインで参加しました。

サミットの前半は参加校の実践発表が行われ、西中学校からは生徒会執行部が出席し、「生徒同士による相談活動」、「ICT活用による相談フォームの利用」、「ピア・サポーターの育成」と今後の活動について、都城泉ヶ丘附属中学校からは清泉会執行部が出席し、「いの中の教育週間の授業」、「泉ヶ丘いじめ追放宣言の周知の工夫」について実践発表しました。

サミットの後半では「いじめを防ぐために私たちができること」、「いじめ防止のメッセージを作ろう」といったテーマで、7校を2つのグループに分けて、活発な意見交換が行われました。意見交換会の最後には「いじめ防止メッセージ」ができました。

サミットの最後に「全国いじめ問題子供サミット」の宮崎県代表校が発表され、都城泉ヶ丘附属中学校が選出されました。

サミット参加の様子



西中学校の発表内容

- 全国いじめ問題子供サミットの参加について**
令和元年度、2年度と参加して学んだこと等から、本校において取り組んだこと、今後の取り組みの発表
- 生徒同士による相談活動について**
スクールカウンセラーから研修を受けた生徒の取り組み、生徒同士による相談活動のメリット・デメリット、やってみての感想、課題点、改善策の発表
- ICTによる相談フォームの利用**
1人1台のパソコン導入によるそれらを活用した相談活動の予定
- ピア・サポーターの育成と今後の活動について**
生徒会役員だけでなく、各学級委員長・副委員長もスクールカウンセラーから研修を受け、多くのピア・サポーターを育成、そしてサポーターを中心に生徒同士による自発的な取り組みを実践していく予定

長期的な取り組み

- ① 自分の性格診断
- ② ストレスへの対処
- ③ 積極的な話の聞き方



参加した生徒の感想

3年 猿山 蒼柊

今回のいじめ問題子供サミットで、他校の人たちと意見交換を行って、いじめに対する考えや、いじめを未然に防ぐための取り組みなどを新しい視点から考えることができました。私たちにはない考えや、取り組みを知ることができて今後の活動への参考になりました。とても良い機会でした。

いじめは学校生活を送るうえで、切っても切り離せない問題だと思います。だからこそ、これからもいじめ未然防止に関する対策を考え、発信し、少しでも多くの人にいじめについて深く考えてもらいたいです。

3年 芝原 悠真

今回、このサミットに発表者として参加しました。私たちの学校を含め7校の中学校で、お互いの学校でのいじめ防止の取り組みを発表し合いました。

全体討論では、いじめ防止のためのスローガンを考えました。みんなで推敲し合いながら考えたスローガンはとてもいいものになりました。今回は全国いじめ問題サミットに参加することはできませんが、このサミットで他の中学校の意見を取り入れていき、さらによい西中学校を目指していきたいと思えます。

都城泉ヶ丘高校附属中学校の発表内容

1 「いのちの教育週間の授業」について

- ① 清泉会（生徒会）理事による寸劇を取り入れた『これっていじめ？〇×クイズ』
- ② いじめの定義についての共通理解
国が法律（いじめ防止対策推進法）で定めた定義を生徒が分かりやすく説明

③ フレンドリードクター

中学生がよく抱える悩みが書かれた紙をもとに、全校生徒を10人程度の縦割りにした班で解決方法を話し合う。悩みがあれば誰かに相談することの重要性を実感させるために実施

④ 泉ヶ丘いじめ追放宣言の発表

清泉会が考えた宣言を全校生徒に紹介

- い…意思を尊重しよう
- ず…ずばりと思ったら伝えよう
- み…みんな違ってみんないい

2 「泉ヶ丘いじめ追放宣言」の周知の工夫について

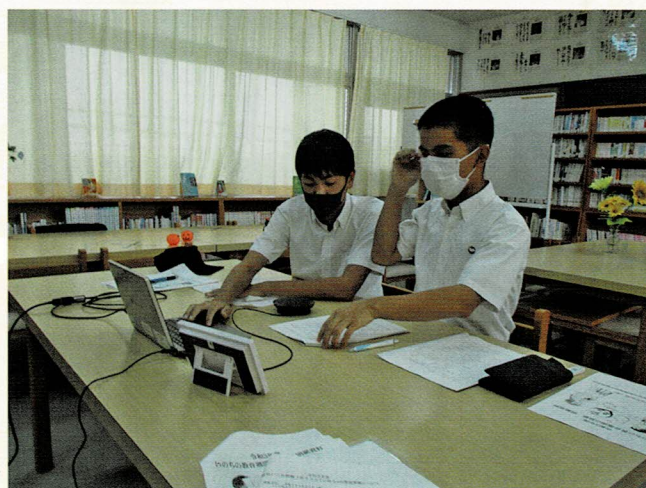
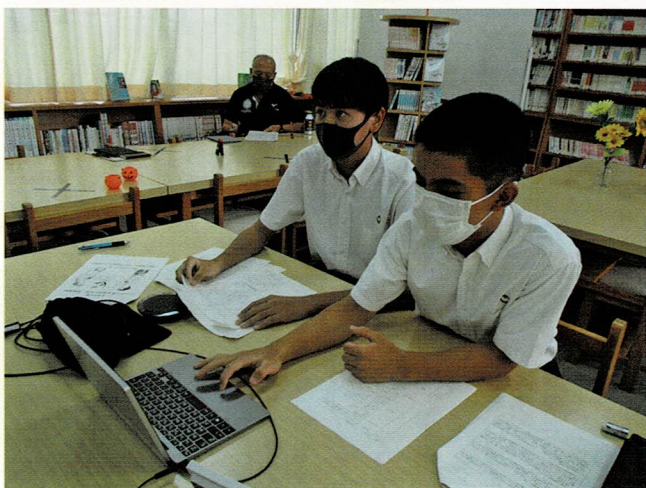
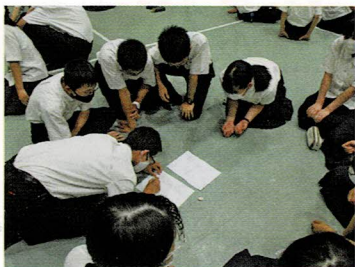
授業後の生徒の感想

● 自分がやった軽率な行動で相手を不快にさせてしまうかもしれないので、これからは自分の言葉や行動一つ一つに責任をもって様々な人と接していきたいです。

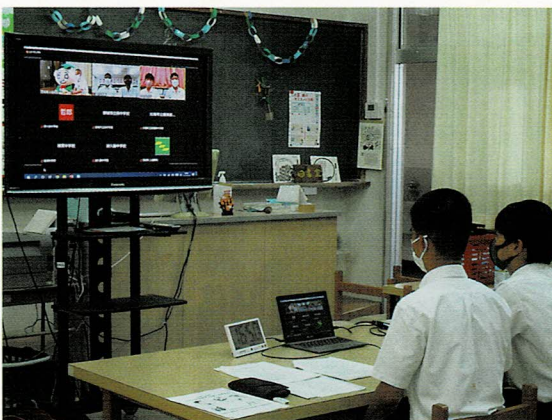
● 「周りと自分を比べ、何もない自分に自信がない」という悩みに対して、先輩が「多様な友人がいることを誇りに思えばいい」と言っていたのを聞いて、私も同じように考えることがあるのでとても参考になりました。

● 意思を尊重し個性を認め合い、思ったことをみんなが気軽に発信できるような雰囲気のクラスを作っていきたいです。

「いのちの教育週間の授業」の様子



サミット参加の様子



参加した生徒の感想

3年 村内 賢伸

コロナ禍でリモート形式となり残念ではありましたが、サミットで「いじめについて考える授業」について発表できたこと、宮崎県代表に本校が選ばれたことは本当に嬉しいことでした。これは、清泉会（生徒会）執行部12名の力だけでなく、執行部以外のすべての生徒のみなさん、そして先生方の協力があって、みんな真剣に「いじめ問題」について考えたからだと思います。

全国サミットでは、宮崎県代表として、泉ヶ丘プライドにかけて、全国に「いじめがなくなるよう」に発表してみせます。

学校間交流

「石川理紀之助翁」交流事業

山田小学校・木之川内小学校
中霧島小学校・山田中学校

参加した児童・生徒の感想

山田中学校

1年 下村 羽美

秋田の皆さん、羽城中学校の皆と交流することができてとても良かったです。秋田に行くまでは想像もつかなかった秋田の風景なども、しっかり見て感じる事ができました。とても良い体験となりました。

1年 小池 優舞

今回の経験を通して、私の知らなかった石川理紀之助翁を知ることができました。「秋田県種苗交換会」をはじめた方だということ、草木谷というところで貧しい人の生活を知るために、山居生活をしていたことなど、私の知らないことがたくさんありました。今回の研修ができたのは石川理紀之助翁のおかげです。本当に感謝しています。

1年 福岡 翔

羽城中学校での交流で学んだことがあります。まず、授業中の態度です。積極的にみんな発表して間違えることを恐れず、どんどん手を上げて、すごいと思いました。次に仲の良さです。すぐに仲良くなった理由は、羽城中学校は日頃から男女共に仲良しで、僕たちが入ってきてもすぐに声を掛けてくれました。こんなに仲が良いところは見たことないほど本当に仲の良い学校でした。僕たちも羽城中学校のような学校を目指せたらよいと思います。

2年 田村 愛喜

県をまたいでの中学校交流は初めてで、緊張や自分たちで作ったプレゼンテーションは成功するだろうかという不安など色々なことを考えていました。羽城中学校のみんなの温かい拍手で迎えてもらったときは、体がすっと軽くなって、もやもやした気持ちも吹き飛びました。自分が思っていた以上に発表が上手くなってとても嬉しかったです。

2年 石原 徠雅

一番に残ったことは、石川理紀之助さんが山田に来た時、言葉が通じない人達に対し、笑顔で挨拶することから始めたということです。私は挨拶はしっかりとできていないと思ったからです。また、そのおかげで石川理紀之助翁の周りにはたくさんの人達がいたこと。そしていつもにぎやかでとても優しい存在だったということを聞き、私もこれから、挨拶をするだけでなく、笑顔で言うことも忘れずに行っていきたいと思いました。

2年 宮元 七怪

今の山田町があるのは石川理紀之助翁のおかげだと思いました。挨拶や早起き、田植えなどいろいろなことをいい方向に変えてくださったということがよくわかりました。別れ惜しまれるほど、たくさんのことを行ったというのにはやはりすごいです。私も「まだ行かないでほしい」と引きとめられるような人になりたいです。

木之川内小学校

6年 福島 玖咲

中学生になったら、今度は湯上市から都城市に来てもらうので、自分たちのごとや石川理紀之助さんとの関係などを、しっかり教えたいです。楽しみです。

6年 福田 るあ

石川理紀之助さんは、貪しかった都城市の人をあいさつで笑顔にしたり、米作りの指導をしたり、すごいなあと思いました。遠い秋田県から山田町のために来てくださったので感謝したいです。

中霧島小学校

6年 原田 優愛

湯上市郷土文化保存伝習館では、石川理紀之助さんの生涯や残した言葉などを、たくさん、くわしく知ることができました。石川理紀之助さんが残した14ヶ条の言葉の1つ、「寝ていて人を起こすことなかれ」の意味から分かる、自分がお手本となって行動する。「まずは自分から」という考え方にすごいと思いました。

6年 今東 慶太

「石川理紀之助翁」交流事業に参加して良かったです。大豊小学校のみなさんがやさしく出むかえてくれてとてもうれしかったです。給食はとてもおいしかったです。今度は秋田県の観光スポットに行ったり郷土料理を食べたりしてみたいです。

6年 前田 朋華

ずっと続いている交流に参加できて、理紀之助さんのこともくわしく知ることができよかったです。理紀之助さんにお世話になった山田町の子孫として次世代に受けついでいって、一人でも多くの人に知ってもらいたいと思います。

山田小学校

6年 萬壽 駿斗

来年は、こちらに来られるので秋田で歓迎されたようにぼくたちも歓迎したいです。まだまだ「石川理紀之助翁」の知らないことがたくさんあるのもっともっと知りたいです。来年は最高のおもてなしをしたいです。

6年 藤森 捺姫

この交流を通して「石川理紀之助翁」のことを沢山学べたし、仲良くマナーを守った行動ができました。この交流事業に関わってくださった秋田県の方や先生方、保護者のみなさんには本当に感謝の思いでいっぱい입니다。

日程

12月16日(木)

山田町→鹿児島空港→羽田空港→秋田空港→湯上市郷土文化保存伝習館→グリーンサム→湯上市役所→天王グリーンランド→秋田市内ホテル

12月17日(金)

湯上市内小・中学校交流会(大豊小学校・羽城中学校)→県立博物館→秋田市内ホテル

12月18日(土)

秋田空港→羽田空港→鹿児島空港→山田町

山田地区では、山田地域づくり協議会が主催する秋田県湯上市内の児童・生徒と山田地区の児童・生徒による相互交流事業を平成26年度から行っています。

12月16日(木)～12月18日(土)に小学校7名・中学校6名が秋田県湯上市を訪問しました。

開始当初から交流を深め、テレビ会議での交流、6回の訪問と4回の受け入れを行った今年の翌年には平成30年度からは訪問した年の翌年には受け入れを行う隔年訪問をしていくこととしていましたが、令和2年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から残念ながら中止となりました。

湯上市の児童・生徒と直接触れ合うことにより、郷土の共通点・相違点に気づき交流体験を通して学んだことを学校生活に還元していきたいという意識の芽生えがあり、石川理紀之助資料館で多くのことを学びます。また、山田地域全体で訪問団を受け入れることで地域で連携する力が強まり、それが山田地域の活性化にもつながっていくと感じました。



石川理紀之助(秋田県湯上市) 1845年～1915年

「寝ていて人を起こすことなかれ」

明治時代の農村指導者。生涯を貧農救済に捧げ、「老農」あるいは「農聖」と敬称され、「寝ていて人を起こすことなかれ」の言葉を残したことで知られています。

2021年度 九州ブロック・ユネスコ活動研究会 in 都城

祝吉中学校

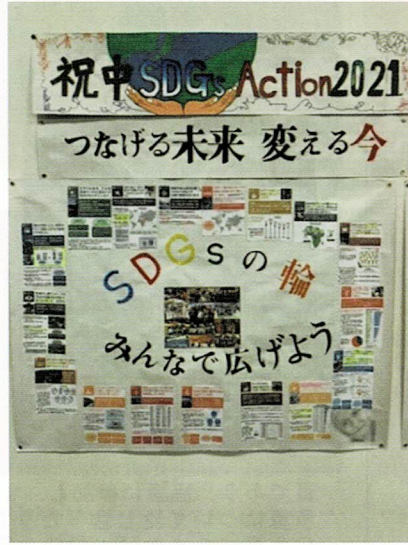
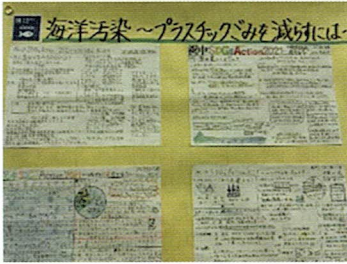
8年に一度宮崎で開催される「九州ブロック・ユネスコ活動研究会」に10月16日(土)、本校3年生が宮崎県の中学生代表として参加しました。

本校では4月から3年生の総合的な学習の時間に「SDGs」について学習し、実際に活動してきました。5月に実行委員会を立ち上げて以降、約1週間から10日のペースでSDGs新聞の発行、給食中の放送を利用した啓発活動を行ってきました。また、各家庭・地域へSDGsの輪を広げるべく学校ホームページへの記事の投稿をしたり、各クラスで軸となる目標を設定し、学校独自の活動を展開したりしました。

活動を通して環境保護の取組をしたり、世界の問題に目を向けたり、海外でのボランティア活動に興味を持つ生徒が増えました。今後もこの取組が後輩たちに引き継がれていくことと思います。

各クラスの目標、活動内容

- 3年
- 1組 「海と陸の豊かさを守ろう」
環境保護・油取りキット・再生紙制作他
- 2組 「貧困とパートナーシップの重要性」
募金活動・エコバッグ製作・フェアトレード商品の啓発活動他
- 3組 「作る責任、使う責任～リサイクル～」
4Rに関するリーフレット製作他
- 4組 「エネルギーの利用の仕方」
節電に関するアンケート・ポスター製作・さつまいも発電工場見学(霧島酒造)・グリーンカーテン他
- 5組 「作る責任、使う責任～フードロス～」
祝吉中給食残飯調査・Lets完食プロジェクト他
- 6組 「水の貴重さ、節水の重要性」
紙芝居制作・水使用量の実験・節水啓発ポスター制作他



参加した生徒の感想

★発表練習や原稿作りをみんなで協力し、活動研究会に参加しました。本番はとても緊張して言葉が詰まってしまったところもありましたが、最後までやり遂げることができました。他の発表を聞き、まだ知らなかったこともたくさん知ることができ、とても光栄でした。

★初めての経験だったので、とても緊張しました。しかし、堂々と発表ができたと思うので良かったです。また、高校生や大学生、ユネスコの方々のお話を聞き新しい知識を得ることができました。

★私達が宮崎県の中学生代表として発表すると初めて聞いたとき、驚いたのと同じ時に本当にできるのかと不安になる部分がありました。しかし、実行委員会のメンバーと発表用のスライドを制作していく中で自然と自信が湧いてきました。

★初めはSDGsを知らなくてとまどうこともありました。ですが、総合的な学習の時間での活動を終えた今、これらの活動の重要性をどんどん広めていきたいです。

★とても緊張しましたが、いい経験になりました。高校生やユネスコ青年部の方々の話を聞いて、私達とは違った視点からSDGsの取り組みをしていてとても勉強になりました。ユネスコの発表を高校生活に活かしていきたいです。そして、学校でのSDGsの活動が終わった後も積極的にSDGsに取り組み、未来の為に頑張りたいと思います。



SDGsとは？

★ Sustainable Development Goals の略

『持続可能な開発目標』簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題、世界中のみんなで2030年までに解決していく」という計画、目標のこと。

児童が正しく健やかで、かつ幸福に育つためのPTA活動

～学校と家庭、地域とが力を合わせたPTA活動を目指して～

都城市立山田小学校

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症拡大予防により、2年間、いくつものPTA活動が中止や縮小を余儀なくされた。昨年度以前の、コロナ禍になる前に実施していた活動を含め、学校と家庭、地域が力を合わせ、児童の健全育成、よりよい学校づくりを目指した一年間の取組を紹介する。

2 活動の実際

○学校支援ボランティアの会の設置

山田中学校区の各学校には、それぞれコーディネーターを中心とした学校支援ボランティアの会が設置されており、知育、徳育、体育、ふるさと教育の4つの領域に分かれて学校を支援していただいている。知育は読み聞かせ、昔の遊び、徳育は登下校見守り、奉仕作業、体育は運動会や持久走大会支援、ふるさと教育は農業体験活動、サマイ学（庄内・山田・志和池地区の開田事業で活躍した坂元源兵衛、前田正名、石川理紀之助についての学習）の活動がある。

○安全パトロール

下校後に校区内を車で巡回パトロールすることによって、児童の交通事故や事件発生を未然に防止することを目的としている。全世帯の保護者が2人1組になり、輪番で2日に1回のパトロールを行っている。

アナウンスをしながらパトロールを行うため、地域への協力を仰ぐ啓発活動にもなっている。現在は活動を中止している。



【車に装着する道具】

○見守り隊

1年生入学後の1週間程度、民生委員児童委員の方々に、下校の見守りをお願いしている。校区内を5地区に分け、それぞれの地区まで児童を見守っていただいている。登下校にまだ不慣れな1年生にとって、有り難い取組である。

2月に行われる民生委員児童委員と職員との懇談会において、新1年生の地区や人数の把握、日程等の話し合いを行っている。

○奉仕作業、運動会、持久走大会への協力

奉仕作業はどの学校でも行われている活動であるが、例年ほぼ全家庭が参加し、民生委員児童委員の方々の協力も得て、テント設置や草刈り、校内の清掃を行っている。重機や乗用草刈り機、軽トラックがある家庭にも借用を依頼している。

持久走大会では、PTA 保体部と民生委員児童委員の方々に、コースの安全管理のため、数箇所に分かれて立っていただいている。



【運動会前日準備】

○家庭教育学級

本校では、家庭教育学級の3役も常任委員会の一員であり、協議に参加し、1年間の計画を立てたり、予算について話し合ったりしている。そのため、学級主事である教頭と学級長及び副学級長との打合せの機会となり、円滑に活動を進めることができています。

コロナ禍により、昨年度は家庭での写真立てづくり、今年度はポーセラーツ体験、それぞれ1回ずつの活動であった。



【ポーセラーツ体験】

3 おわりに

昨年度に引き続きコロナ禍により、例年計画していたPTA活動が十分に行えなかった1年間だった。その中でも、できる範囲で家庭や地域の方々と連携をとり、協力し合うことができ、ある程度の成果は得られたと感じる。今後もこの状況が続くことが予想されるが、学校と家庭、地域が継続してつながり、よりよい学校づくり、地域づくりを目指す体制を維持していく手立てが必要である。

子どもの「たくましく生きる力」を育むPTA活動

～コロナ禍においての2年間～

都城市立志和池中学校

【はじめに】

保護者の就労形態の変化により、持続可能なこれからのPTAの在り方を構築していくことが求められている時代が来ていることを感じている。そんな中、平成31年にコロナ禍といわれる状況が始まり、PTAの活動も様々な制約の中で取り組まざるを得なくなった。この制限が今後のPTA活動のスリム化に何らかの影響を与えていくのではないかと推測する。

【本校の紹介】

本校は、全校生徒192名、PTA戸数166戸、職員21名（非常勤を含む）の中規模校である。生徒は、志和池小、丸野小の2校より進学してくる。

校区内は、肥沃な農地が広がり、縄文時代の遺跡や古墳、戦国時代の城跡等歴史的遺跡も点在している。

【活動の実際】

①各部の活動

○執行部

- ・コロナ感染防止策として活動のガイドラインを検討し、各専門部の活動に反映させた。
⇒定期的な会議を必要最小限度の開催にした。
⇒PTAが関わる行事が開催可能か、学校支援が可能な活動かの規模と時期の精選に取り組んだ。
⇒各連絡ツールによる（電話連絡・ライン・学校からの文書）を最大限活用し、活動内容の確認をした。
⇒執行部が、各活動の支援体制を行った。

○保健体育部

- ・体育大会において密を避けるために、各地区テントの位置を大幅に後方に移動するなどの検討を行うとともに、観戦場所を設けるなど、保護者観戦位置の工夫を行った。
- ・ロードレース・駅伝大会における参観保護者の誘導及び、コースの誘導に取り組んだ。

○成人教育部

- ・家庭教育学級は、開催を見送った。
- ・PTA新聞の作成にあたって、撮影当番を決定するための会議や編集会議は開催せず、部長のリーダーシップのもと各連絡ツールで分担し、行事の写真撮影を行った。また、編集にあたっては、部長と教頭が連絡をとり、レイアウトや挿入写真などの原稿を検討した。

○施設事業部

- ・もともと年2回活動していた環境美化については、施設事業部部員のみでの作業（令和2年度）有志を募っての作業（令和3年度）とし、密を避けた作業形態で取り組んだ。
- ・志の会（おやじの会）の開催を見送った。

○生活指導部

- ・朝のあいさつ運動（令和2年度）の取組については、感染状況が厳しい時期は取り組みを停止した。
- ・地区の行事の中止が相次ぎ、巡回補導等の計画を組むことがなかった。

○評議員（各地区の代表委員）

- ・削ったもの⇒給食費の徴収（令和2年度）赤い羽根募金の徴収（令和3年度）
- ・残したのもの⇒体育大会の地区テントの場所検討会、役員選考委員としての活動（本校では次年度の役員選考は評議員が行っている）

コロナ禍における取組

執行部(役員会)	施設事業部	成人教育部	生活指導部
総会開催 役員会開催 評議員会開催 地区懇談会を開催 三校合同PTA参加 各PT連の参加 他校PTAとの連携 PT連連への参加 学校行事への協力 地区青少年連への参加 各団体機関との連携	部会開催 奉仕作業 学校環境整備 学校行事への協力 赤い羽根運動への参加	部会開催 PTA新聞発行 各行事の取材 家庭教育学級の参加 学校行事への協力	部会開催 交通指導 通学路の点検 巡回指導への参加 科長神社六月灯への参加 地区青少年連への参加 学校行事への協力 あいさつ運動企画開催 他校生徒指導部との連携
	保健体育部 部会開催 学校保健大会への参加 増訂大会への企画開催 体育大会への参加 学校行事への協力	学年委員会 委員会開催 学年・学級活動開催 赤い羽根運動連絡 2年立志式企画協力 学校行事への協力	評議員会 活動内容のスリム化 【なくしたのもの】 ・給食費の徴収 ・赤い羽根共同募金の徴収 【残したのもの】 ・体育大会前の会 ・二年に一度の役員選考委員 ⇒現在検討中

□ 実施活動

■ 精選した活動

②その他の活動や取組

- ・PTAの活動が削減されたため、活動費などの余剰予算を生徒に還元するために、生徒一人一人に携帯用消毒スプレー、マスクの配付、加湿器の購入など感染対策に活用した。（令和2年度）また、令和3年度は、前年度の予算執行状況を教訓に、年度当初から臨機応変に予算執行に努めた。
- ・全世帯の安心安全メールへの加入が済み、学級連絡網などでの連絡に関する家庭への負担が削減された。

【成果と課題】

「夜間の会議が削減されたことで、子供だけを家庭に残して会に参加するという負担がへり、大変良かった。」という意見が出された反面、「会議の削減で役員同士のつながりが希薄になった。」「面識がなく一体感を感じなかった。」という意見をいただいた。負担感を少なくし、なおかつ役員同士のつながりを感じていけるような適切な活動内容を提案していくことが必要であると感じた。また、このコロナ禍において、行事、会議、活動に制限があり、必要なことは何か、必要でないものは何かという視点でPTA活動に取り組むことができた。

成人教育部の役員の方から「新聞に載せる写真を撮影する際に、生徒の活動を間近で見ることができて感謝している。」というご意見をいただいた。役員の方の心温まる学校へのご支援の気持ちに心から感謝申し上げます。



市民団体むじっこみまもりたいの紹介

むじっことは、かわいい子という意味

「市民団体

むじっこみまもりたい」 ってなあに？

市民有志が立ち上がり、誕生した市民団体「むじっこみまもりたい」(以下、むじっこ)というをご紹介します。

社会福祉法人やNPO法人や地域の有志の方々が2021年10月に立ち上げた団体です。子育てが大変だというご家庭と「つながって」、社会の宝である子どもたちの笑顔と権利を守るために、毎月の訪問、宅食のお届け、その他、子ども食堂やフードバンク、フードパントリーなどの活動と連携しています。

どんな活動をしているの？

活動は、子育てが難しい、生活が大変だという「申込」があったご家庭とつながり、訪問・相談・食材提供などを月に1回以上行っています。

現在は、活動地域として、高城地区など4地区が対象エリアですが、妻ヶ丘地区では準備中です。沖水・小松原・五十市・横市・庄内・山田・高崎・中郷・西岳などの地区への拡大のために奮闘中です。

多くのボランティアが必要ですが、興味のある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

むじっこの会長より 皆様にメッセージ！



会長 末永陽子

むじっこみまもりたいの活動(18歳以下の子どもさんがおられるちよつと生活が大変だというご家庭へ必要な食料品等をお届けしたり、子育ての相談を伺ったりする支援事業)が、都城市や市内の企業・団体・個人の方々のご支援でスタート出来ました。感謝です。ありがとうございます。

現在は姫城地区・高城地区・山之口地区・祝吉地区が対象エリアですが、多くのボランティアを募って、市内全域が対象となるよう努めていきます。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

市民団体

むじっこみまもりたい

あなたのむじっこやあなた自身を笑顔にするお手伝いをさせていただきます。



【お問い合わせ】

むじっこ事務局
都城市早鈴町1583-13
社会福祉法人相愛会 相愛保育園内
電話：25-11879
携帯：080-1275119682
担当：高木かおる・高木朝(トモ)

宮崎子ども未来ネットワークさんから 寄付を頂きました。

寄付金を原資に、今回はクリスマスケーキを対象のご家庭にお届けしました。
ご家庭からの「声」をご紹介します。

♡ ケーキありがとうございました👍
大きいサイズでびっくりしました！みんな喜んでいたのでよかったです！

♡ すごく豪華なケーキをありがとうございました！子供達がみんな大喜びでした。今までで一番豪華なクリスマスケーキ。本当にありがとうございました👍

♡ 本当に、大きなホールのクリスマスケーキありがとうございました👍
長男が帰って来ましたら、イブで半分、明日のクリスマスに半分を2人で食べます。

♡ 今年はもう買わないからね！って言ったので大喜びしそうです！



子どもは、幸せになる権利がある。クリスマスに間に合うようにと願い、会員総出でイブの日にお配り出来て、本当に良かったです。

「むじっこだよりNo.2」より

役員紹介

会長	末永陽子
副会長	笹葉 照明
会計	川越 正美
監事	加藤 よし子
事務局	池崎 真樹
事務局補佐	高木 かおる
【エリア責任者】	
高城地区	笹葉 照明
山之口地区	川越 正美
姫城地区	肥後 大輔
祝吉地区	椎屋 藤雄



かつてはPTA役員として頑張った方もメンバーにいますよ！

事業報告

教育懇談会

「GIGAスクール構想と今後の都城の教育環境」

総会（書面決議）

（5月14日）

広報担当者講習会

（5月22日）

学年・学級委員長研修会

（6月26日）

PTA会長研修会

（8月5日）

女性会員研修会

（9月4日）

第61回

都城市PTA研究大会

（1月29日）

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、本年度も中止となりました。

広報担当者講習会につきましては、「PTA新聞編集の手引き」を希望する学校に配布させていただきました。

令和4年度の研修会についても、状況により変更・中止等を考えられます。その際は学校を通してお知らせいたします。

11月19日（金）「これからの都城の教育について」をテーマに、市P連の事業としては約1年半ぶりに教育懇談会が開催されました。都城市教育長 児玉春男様、生涯学習課長 新村和彦様、学校給食課長 吉行勝彦様、都城市美術館 武田浩明様に講演頂き、市内各小中学校長、PTA会長の約100名に出席いただきました。

児玉教育長からは、昨年度より導入された「GIGAスクール構想」（GIGA=Global and Innovation Gateway for Allの略）について子ども達の多様な学びのために、一人一台の端末をいち早く取り入れた授業を始めています。SO/S3の4つのステップで最終的には深い学びに落とし込んでいく計画です。この取り組みは「Global for education×NHK」というNHKの番組で都城市立南小学校の取組が紹介・放映されました。

生涯学習課 新村課長からは、地域学校協働活動について、今後の学校と地域の連携・協働の説明が行われました。これまでは学校運営協議会が主体となり、地域全体で子ども達の育ちを支えていくことが主眼に置かれてきましたが、これからは地域学校協働本部を設立し、地域と学校がパートナーとなって、学校を核とした地域づくり、つまり、支援から連携・協働へといった大きな流れで子育て環境の育成が行われていきます。

学校給食課 吉行課長より、来年度からの学校給食費公会計化に向けた進捗状況の説明がありました。

最後に都城市美術館 武田館長より、市美術館40周年事業の一環として、横山大観展が11月21日より開催されることでした。

多様な教育や子ども達一人ひとりに向き合った細やかな教育を、ITや端末の技術を駆使し、個性を大切にしながらも、より深い学びに結びつけられる都城の教育環境に期待したいと思えました。



会場内の様子
（ソーシャルディスタンスを確保）



開会行事



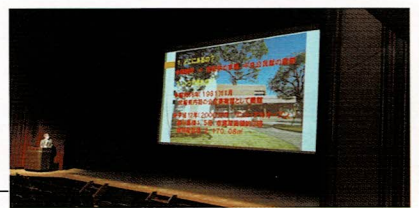
生涯学習課
「地域協働活動」
についての説明



教育長 講話
「これからの都城の教育」
について



学校給食課
「学校給食費公会計化」
についての説明



美術館
特別展
「日本美術の源流
一雪舟・狩野派から近代美術」
についての説明

令和4年度 予定

★総会 令和4年 5月21日(土)

◎会場 都城グリーンホテル

★広報担当者講習会 5月22日(日) 10:00~12:00

◎会場 中央公民館 大会議室

★学年・学級委員長研修会 6月18日(土)

◎会場 中央公民館 大会議室他

新型コロナウイルスの感染の状況によっては、中止または規模を縮小しての開催となる場合があります。ご了承下さい。また、会場につきましては予定です。変更の場合もあります。

★受賞おめでとうございます。

宮崎県PTA連合会 表彰

団体の部 都城市立山田小学校 P T A
 都城市立志和池中学校 P T A

個人の部 都城市PTA連絡協議会 前会長
 野口 勇心



編集後記

今まで当たり前のように行ってきた学校行事やPTA活動。今年もまた新型コロナウイルスの影響で思うようにできない一年となってしまいました。

一日も早くこの新型コロナウイルスが終息し、来年度こそは今まで通りの学校生活を送れることを願うばかりです。

今回、編集委員で集まることとができず、事務局の方に進めていただき『つなぐ第26号』を発行することができました。ありがとうございます。

編集委員

米丸 亜衣

編集委員

赤池 智和 吉永 健一
 永野 正和 上園 将己
 今村 亮一 床次 武善
 山口 弘徳 立山 慎
 山高 琴美 米丸 亜衣
 平山 美津代 野口 勇心
 原口 辰弘 開坂 聡
 東口 美紀 盛留 賢樹
 高木 かおる

事務局

岩崎 元子 池田 絹子